

オンライン展覧会

多摩川を渡る

六郷橋
と
六郷渡船

2025年12月12日(金) 10:00 ～ 2026年3月31日(火) 15:00
無料・申込不要

川崎を流れる多摩川は、川崎の土地を潤し、人々に親しまれてきました。

しかし、一方で氾濫をくり返す暴れ川でもあり、下流に架かる六郷橋は江戸時代に幾度となく流失します。

貞享5年(1688)以降は渡し船に切り替わり、やがて川崎宿が渡船運営を請負い、人々を渡すこととなりました。

その後、時代が明治に入って架橋の気運が高まると、約180年ぶりに六郷の渡しに橋が架かります。

その時、渡船場はどうなったのでしょうか —

本展では近世から近代における六郷橋と六郷渡船に焦点を当て、当時の人々の姿を紹介します。



主催 川崎市市民ミュージアム Tel:044-712-2800(土日祝・年末年始を除く8:30～17:15) Mail:25museum@city.kawasaki.jp



レクチャー&ワークショップ

わたる つくる たどる 橋



かつて多摩川には、対岸に行くための手段として船などの「渡し」があり、人やものの行き来を支えていました。橋がかかる前、人々は「渡し」で多摩川をわたりながら、川とともに暮らしを営んでいたのです。

このワークショップでは、橋や川辺の情景をかたちにするジオラマ作りを行います。

木を組み合わせて橋を作ったり、石などの素材を使って周辺に広がる自然の姿を表現しましょう。ワークショップの始めには、多摩川の渡しや橋についてのレクチャーもあります。歴史をたどり、想像をふくらませながら、自分の手で小さな“多摩川の風景”を紡いでみましょう。



【日時】2026年2月8日 日 13:00～15:00

申込方法(事前申込制)

川崎市市民ミュージアムWebサイトのイベントページ(申込フォーム)よりお申込みください▶

【申込期間】2026年1月5日(月)10時～1月26日(月)16時

※1組4名まで応募できます

※応募者多数の場合は抽選。当選者のみに1月29日(木)までにメールでお知らせします



対象 高校生以上

定員 15名

参加費 300円

ワークショップ講師

ムラハタワークス
古畑健太郎氏



ムラハタワークス
村尾理枝氏



レクチャー担当 松本知佳(当館学芸員)

主催 川崎市市民ミュージアム Tel:044-712-2800(土日祝・年末年始を除く8:30～17:15)
Mail:edu_kcm@kawasaki-museum.com

会場



二ヶ領せせらぎ館 2階会議室
〒214-0021 川崎市多摩区宿河原1丁目5-1
(JR南武線 登戸駅から徒歩11分)

駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮願います。